

# 骨子（事務局案）のポイント

## ポイント 1

### よりわかりやすい構成

[第1部：戦略] + [第2部：行動計画] の2部構成  
実行に向けた道筋を明らかにする「行動計画」

実施主体の明記、できる限り数値目標を入れた「行動計画」とすることで、実施への道筋と実施状況をより透明化

## ポイント 2

### 生物多様性の重要性の強調

生物多様性の重要性について、身近な暮らしに結びつけた説明を第1部の冒頭に位置づけ

## ポイント 3

### 地球規模の視点の強化

地球温暖化の影響、地球規模で移動する生物、輸入を通じた日本と世界の生物多様性のつながり、2010年目標など全体的に地球規模の視点を強化

## ポイント 4

### 実効性の向上

国家戦略の考え方を地域での活動に結びつけるため、地方や企業による取組の必要性を強調

## ポイント 5

### 4つの基本戦略の提示

- ・ 生物多様性を社会に浸透させる
- ・ 地域における人と自然の関係を再構築する
- ・ 森・郷・川・海のつながりを確保する
- ・ 地球規模の視野を持って行動する

地球規模、全国、地域という各レベルと流域圏を基軸とした相互のつながりという視点からの戦略的に取り組む大きな方向性を提示